

令和6年2月定例会

予算決算委員会資料

(企画財政部)

地域資源魅力発信事業について

1 目的

「秋田市シティプロモーション基本方針」は、本市の魅力の効果的な発信による関係人口、交流人口の拡大を図ることとしている。寄附を通じた関係人口、交流人口の拡大を目的とする「ふるさと納税」は、返礼品を通じて本市の魅力を発信できることから、シティプロモーションを推進する上でもきわめて有効な取組である。

そこで、ふるさと納税の返礼品として地域資源の新たな活用を図ることにより、その魅力を発信して本市の認知度とイメージの向上に貢献することを目的とする。

2 概要

予算額 4,815千円

本市の地域資源である、歴史と文化のまち、文化創造のまち、美大があるまち、などの都市イメージを活用したふるさと納税の返礼品を開発し、ふるさと納税を通じてその魅力を発信する。なお、事業費を上回る寄附の獲得をめざす。

※地域資源のうち地場産品に関しては、秋田市ふるさと応援寄附金推進事業において返礼品の企画開発の強化を図る。

(1) プロモーショングッズの製作

1,730千円

本市の歴史や文化をテーマとしたプロモーショングッズを企画・製作する。製作したグッズは、テーマに関連した事業への寄附をクラウドファンディング型ふるさと納税により募集する際の限定返礼品の一つとする。

(2) N F T アートの普及促進

3,085千円

N F T アートをふるさと納税の返礼品として提供するための基盤を整備する。令和6年度は秋田公立美術大学と連携して学生が制作するデジタルアートを返礼品とし、学生のクリエイター活動の支援にもつなげる。

ア N F T を提供するプラットフォームの運用およびサポート

K D D I 株式会社と連携して学生のN F T アート制作を支援するとともに、N F T プラットフォームを運用してN F T を発行する。

イ N F T 保有者への特典付与およびN F T 認証システム整備

返礼品としての魅力を高めて寄附を促進するため、N F T 保有者への特典を付与するとともに、対象のN F T を認証するシステムを整備する。

※N F T（非代替性トークン）とは、ブロックチェーン上で発行された代替不可能なデジタルデータのことであり、複製や改ざんができないことから、当該デジタルデータの真正性と唯一性を証明することができる。

外旭川地区まちづくり事業推進経費について

1 目的

外旭川地区まちづくり基本計画を踏まえ、モデル地区における取組のより具体的な内容に関する検討を進め、事業の推進を図る。

2 概要

予算額 9,684千円

(1) マネジメント組織に関する経費

560千円

地域未来投資促進法に基づく基本計画について国からの同意を得たのちに、まちづくりに地域の声や各分野に精通した方々の意見を取り入れ、さらなる発展と地域全体への波及効果を生み出すことを目的とした連携協力団体として、（仮称）外旭川地区まちづくり協議会を設立する。

協議会は、商工団体、高等教育機関、事業パートナー等を構成員とし、外旭川地区まちづくり基本構想・基本計画の趣旨を踏まえ、多角的視点から地域の課題やニーズを掘り起こし、事業パートナーを通じて各参画事業者へ提案、要望等を行うものであり、テーマごとの分科会の設置も想定している。

(2) アドバイザリー業務に関する経費

4,004千円

本市の課題解決に向けた取組、各参画事業者の事業内容などに関する法務、金融、技術面などにおける専門的な観点からの検証を踏まえた助言を受けるため、引き続きアドバイザリー業務を委託する。

契約は、基本計画策定におけるアドバイザリー業務の受託者との随意契約を想定している。

(3) コンサルティング業務に関する経費

4,241千円

まちづくり基本計画で示した取組の本格実施に向け、総務省の地域力創造アドバイザー制度を活用し、先端技術を活用した取組の具体化、関係者間の調整や事業化準備などに関するコンサルティング業務を外部の専門家に委託する（特別交付税対象経費）。

(4) 事務費

879千円

3 事業費内訳 【予算額 9,684千円】

報償費	560千円	協議会外部委員(20人分)謝金
旅費	810千円	中央省庁折衝用務、先進地視察
需用費	14千円	協議会お茶
役務費	15千円	白布クリーニング代、レジャー保険
委託料	8,245千円	アドバイザリー業務、コンサルティング業務
使用料及び賃借料	40千円	会場借上料

中核市サミット開催市負担金について

1 目的

地方分権の推進と地域のさらなる発展に向け、都市共通の課題について議論を深め、将来へつなげる政策を発信する「中核市サミット2024 in秋田」を開催する。

(1) 開催概要

10月31日(木)	プロジェクト会議 基調講演、パネルディスカッション レセプション
11月1日(金)	中核市市長会議 行政視察

(2) 会場

あきた芸術劇場ミルハス、秋田市文化創造館

(3) 参加者数

約500人（首長、議員、自治体職員等）

2 概要

予算額 7,882千円

(1) 開催市負担金

7,882千円

本市において中核市サミットを開催するため、秋田市サミット開催事務局（令和6年4月上旬設置予定／事務局：企画調整課）に負担金を交付する。

(2) 事務局予算内訳

ア 収入 (単位：千円)

費目	予算額	内容
開催市負担金	7,882	
中核市市長会負担金	7,000	中核市市長会が開催市に交付
レセプション参加者負担金	700	参加者100人を想定
合計	15,582	

イ 支出 (単位：千円)

費目	予算額	内容
業務委託料	14,680	サミット運営業務委託
事務費	902	旅費、消耗品費等
合計	15,582	

3 スケジュール(案)

令和6年4月上旬 サミット開催事務局設置
業務委託プロポーザル公表
5月 業務委託プロポーザル実施・契約
6月下旬 開催概要決定
7月 開催案内等発出
10月31日 中核市サミット開催（～11月1日）